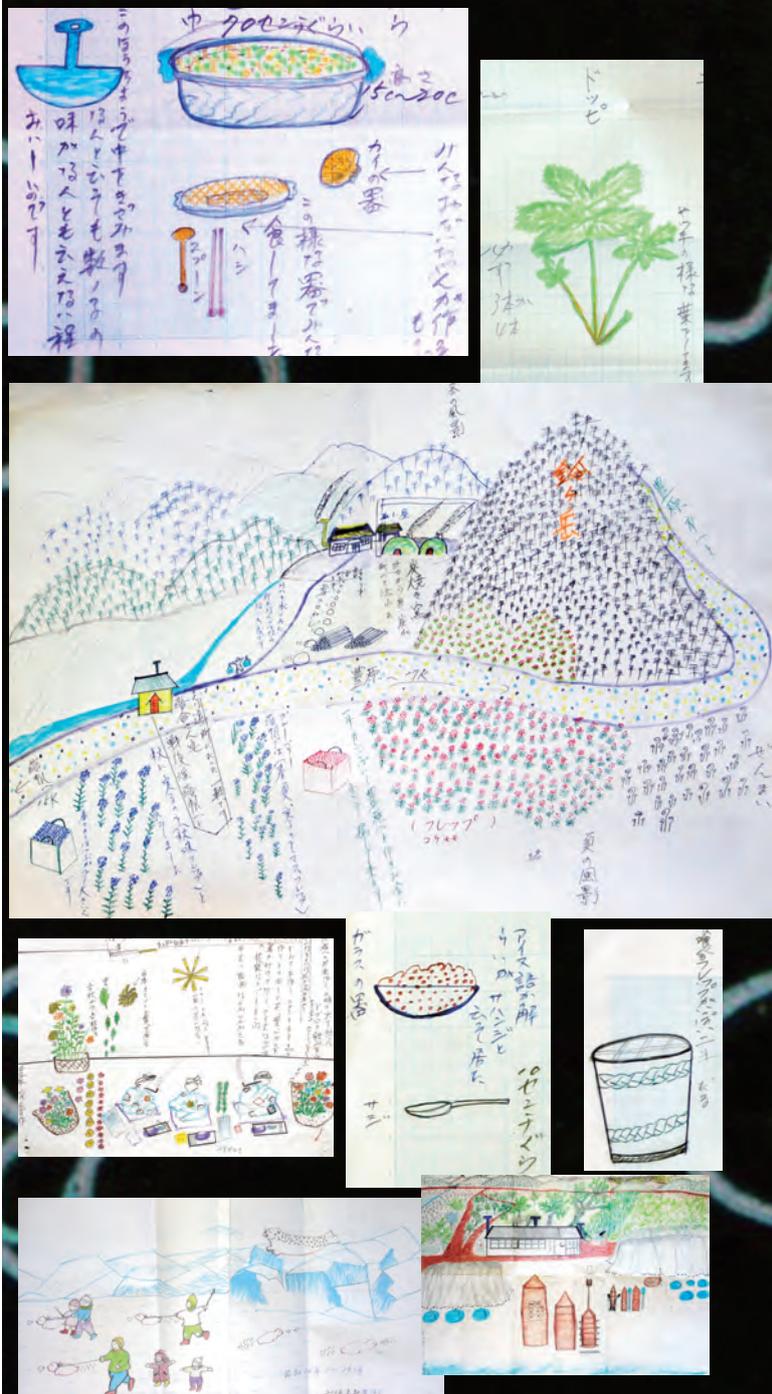


# 『オホーツクの灯り』

樺太、先祖からの村に生まれて

## 安部洋子原画展

— 故郷・樺太を思い出して —



2015年

# 6/13<sub>土</sub>~8/8<sub>土</sub>

10:00-17:00 (日・祝 休室)

会場

札幌大学 (2号館地階)

埋蔵文化財展示室

関連研究会 6月21日(日) 13:00~17:00  
札幌大学2号館地階2006教室

サハリン・樺太史研究会第34回例会・総会

参加無料  
申込不要

第1部

「自伝『オホーツクの灯り 樺太、先祖からの村に生まれて』を出版して」

話し手: 安部洋子氏(樺太富内村落帆船出身)

聞き手: 田村将人(札幌大学)

第2部

「小樽に遺された樺太の記憶・記録 ~小樽市総合博物館所蔵資料から~」

菅原慶郎氏(小樽市総合博物館)

関連書誌

『オホーツクの灯り 樺太、先祖からの村に生まれて』

著者: 安部洋子 編集: 橋田欣典 協力: 田村将人

発行: 2015年4月20日

発行所: 株式会社クルーズ(1,800円+税)

## 『オホーツクの灯り』

樺太、先祖からの村に生まれて』

## 安部洋子 原画展

— 故郷・樺太を  
思い出して —

安部洋子氏は、1933(昭和8)年、樺太(サハリン)オホーツク海沿岸の落帆で生まれ、1948(昭和23)年、北海道へ移住するまでの15年間そこで育った。かつてアイヌ語でオチョポッカと呼ばれ、言語学者・金田一京助がこの地に滞在した際のエピソードが教科書に掲載されたことでも知られる地である。彼女は、北海道で理容師の仕事につき、その後関東へ移住。近年3度の故郷訪問を果たした。この間に受けた民族差別などの苦労や、様々な思い出を自筆の絵と俳句で綴った自伝が今春出版された。樺太での豊かな暮らしぶりを、安部洋子氏の絵でご覧いただきます。

### 関連研究会

6月21日(日) 13:00 ~ 17:00 参加無料・申込不要

## サハリン・樺太史研究会第34回例会・総会

札幌大学2号館地階2006教室

### 第1部 13:00 ~ 14:45

「自伝『オホーツクの灯り 樺太、先祖からの村に生まれて』を出版して」

話し手: 安部洋子氏(樺太富内村落帆出身)

聞き手: 田村将人(札幌大学)

原画展見学 14:45 ~ 15:00 (札幌大学2号館地階2001室)

### 第2部 15:00 ~ 16:30

「小樽に遺された樺太の記憶・記録 ~小樽市総合博物館所蔵資料から~」

菅原慶郎氏(小樽市総合博物館)

総会 16:40 ~ 17:00

主催: サハリン・樺太史研究会

#### 【お問合せ】

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1  
札幌大学埋蔵文化財展示室(2号館地階2001室)  
Tel 011-852-9182 Fax 011-836-0215  
<http://www.sapporo-u.ac.jp>

#### 【交通案内】 ※来客用駐車場あり

- 地下鉄南北線「澄川駅」または「南平岸駅」から中央バス西岡線[南71]を利用し「西岡中央公園」下車(乗車時間約10分) タクシー利用の場合乗車時間約10分/1,000円程度
- 地下鉄南北線「澄川駅」から中央バス西岡環状線[澄73]西岡3条先回り、下西岡線[南71]、西岡線[南81]、澄川白石線[澄78]のいずれかを利用し「札大南門」下車(乗車時間約6分)
- 地下鉄東豊線「月寒中央駅」から中央バス[澄78]、又は[月82]を利用し「札大正門前」下車(乗車時間約9分)
- 札幌駅前(さっぽろ東急百貨店南口前)から中央バス西岡平岸線[79]、または西岡美園線[83]を利用し「札大正門前」下車(乗車時間約35分)

